




研修番号	開催県	開催日	開催時間	テーマ	講師名	会場	定員
1	熊本県	2020年 8月17日(月)	10:00～15:00	梱包技術	ヤマトグローバル ロジスティクスジャパン(株) 九州美術品支店社員	くまもと文学・歴史館	30名
2	宮崎県	2020年 8月28日(金)	10:00～17:00	展示グラフィック	熊谷 淳一 (株式会社ノイエ)	宮崎県総合博物館	30名
3	佐賀県	2020年 9月1日(火)	10:00～17:00	博物館 リニューアルと 照明計画	藤原 工 (株式会社灯工舎)	武雄市図書館・ 歴史資料館	30名
4	福岡県	2020年 9月4日(金)	10:00～17:00	ユニバーサル・ ミュージアムⅠ	広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館)	九州産業大学	30名
5	大分県	2020年 9月8日(火)	13:00～17:00	資料保存	木川 りか (九州国立博物館)	新中津市学校	40名
6	沖縄県	2020年 9月11日(金)	13:00～17:00	著作権	福井 健策 (弁護士、日本大学芸術学部)	琉球大学	80名
7	鹿児島県	2020年 9月15日(火)	10:00～17:00	ユニバーサル・ ミュージアムⅡ	佐々木 秀彦 (＜公財＞東京都歴史文化財団) 他	鹿児島国際大学	30名
8	長崎県	2020年 9月23日(水)	10:00～17:00	展示制作	洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館)	諫早市美術・歴史館	30名

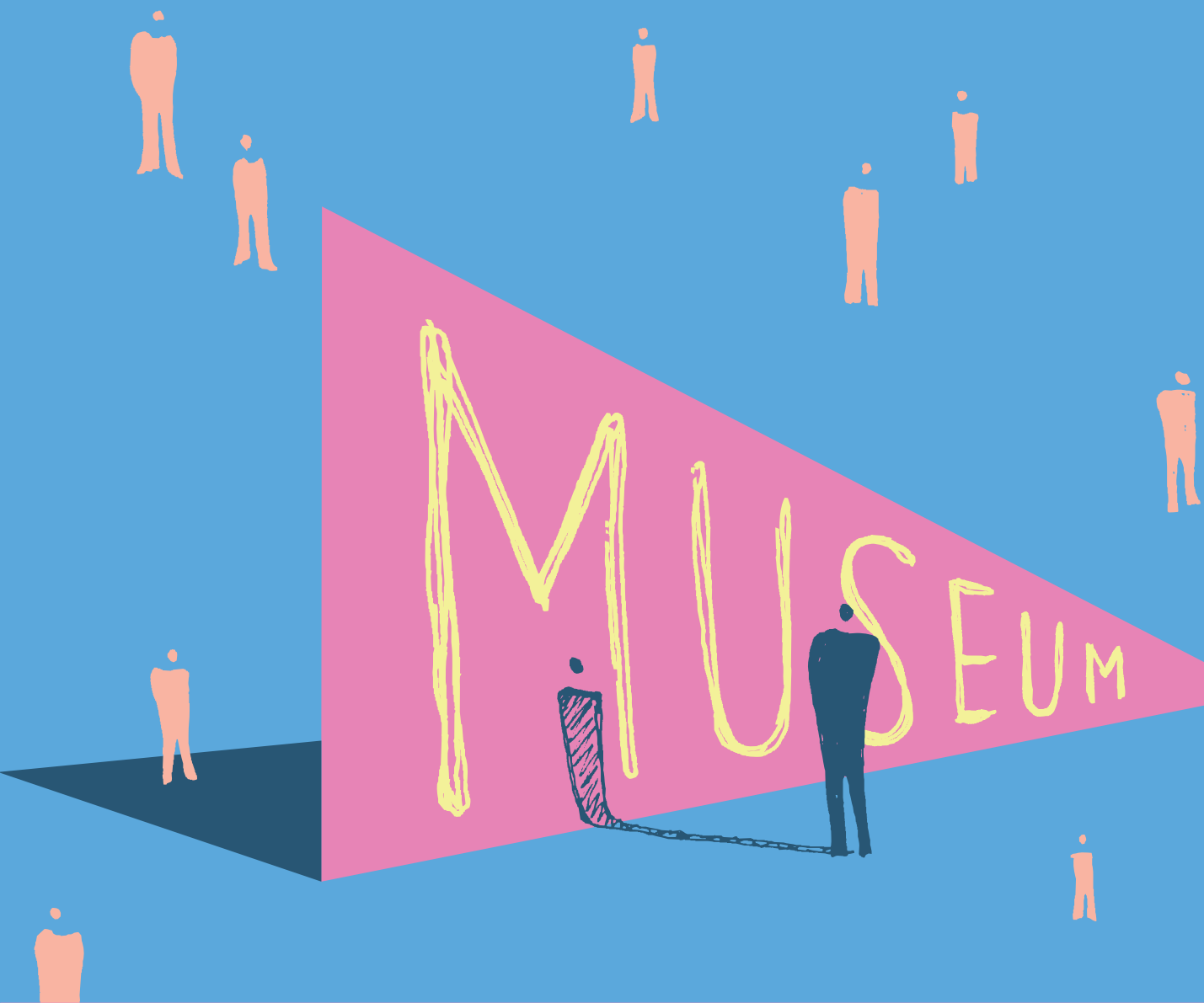
【注意】●入場にあたっては、開催会場の感染症対策にご協力いただきます。マスク着用願います。●感染症拡大の状況により閉鎖となった場合は、研修会が中止となる可能性もあります。

■主催:「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館＜代表＞、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館) ■共催:中津市歴史博物館、鹿児島国際大学、沖縄県大学図書館協議会 ■協力:くまもと文学・歴史館、宮崎県総合博物館、武雄市図書館・歴史資料館、琉球大学、諫早市美術・歴史館 ■事業責任者:緒方 泉(九州産業大学地域共創学部教授)

受講料	無料	申込方法	*メールにてお申し込みください*	QRコードからも お申し込みできます。	
参加対象	別紙のとおり				

問合せ先	「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会 中込 潤(事務局長、九州産業大学美術館学芸室長) museum03@ip.kyusan-u.ac.jp
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」 学芸員技術研修会開催要項



人間は、これまで「動くこと」「集まること」を繰り返しながら、社会、そして文化を形成してきました。しかし今、それが大きく制限されています。

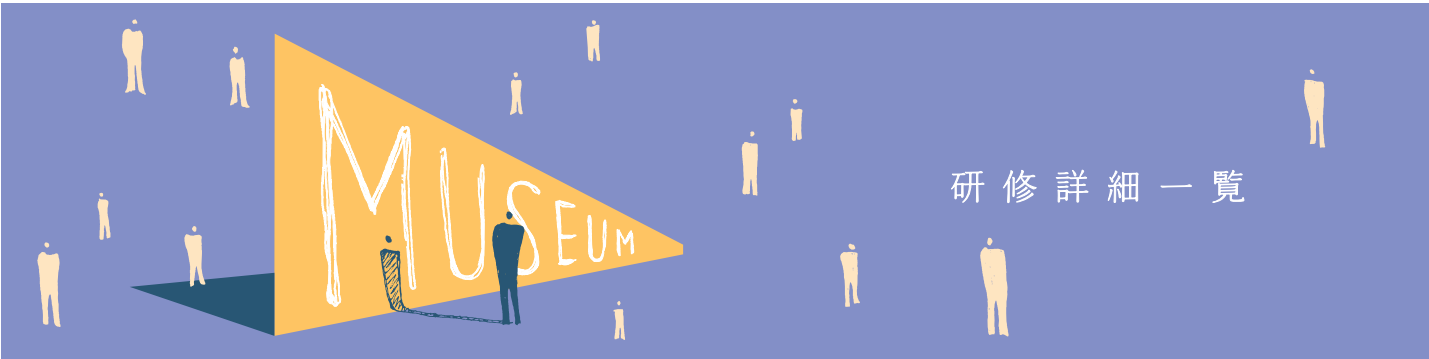
そして、私たちには、感染拡大防止の3つの基本である「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」などによる「新しい生活様式」の実践が求められています。

大規模集客施設でもある博物館は、Withコロナ時代にどう適応していけばよいのでしょうか？立ち止まることはできません。九州・沖縄の学芸員は、「だれもがアクセス可能で、知的刺激を受け、学び楽しめる博物館づくり」に必要な「守る技術(保存・修復)」「調べる技術(調査研究)」「見せる技術(展示)」「伝える技術(教育普及)」「活かす技術(運営)」を、これまで以上に向上させる必要があると思います。

皆さん、「新しい生活様式」を実践しながら、Withコロナ時代を生き抜く「博物館づくり」を共に学び、考えませんか？

研修会の特徴	● 現職学芸員のニーズに沿った研修内容です ● 講師陣が多彩で、博物館学の今を知ることができます ● 研修会は自由選択、1講座でも受講できます	● 研修会は九州・沖縄8県で開催します ● グループワークが多いので、館種を越えた人的ネットワークができます	受講料	無料
--------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----	----

■主催:「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館＜代表＞、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館) ■共催:中津市歴史博物館、鹿児島国際大学、沖縄県大学図書館協議会 ■協力:くまもと文学・歴史館、宮崎県総合博物館、武雄市図書館・歴史資料館、琉球大学、諫早市美術・歴史館



研修詳細一覧

研修番号 1

研 修 分 野	梱包技術
講 師	ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)九州美術品支店社員
ね ら い	「仏像の梱包はどこに注意すればいいの?」「紐の結び方って何回やっても覚えられない」「掛軸を巻くと、いつもタケノコみたいになる」など、作品の取り扱い方、梱包・開梱の仕方の実際を体験的に学びます。
定 員	30名(先着順)
受 講 者 像	梱包技術に関心がある博物館・図書館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年8月17日(月)10:00-15:00(9:30受付開始)
会 場	くまもと文学・歴史館(熊本県熊本市中央区出水2-5-1)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●梱包作業に入る前に、作品や資料をよく観察し、ダメージの状態、資料のうち分解可能な箇所などを確認することが大切だと分かりました。●常に緊張感をもって、対象物・所蔵者に接する真摯な姿勢が、信頼を得ることにつながることを忘れずにいなければ、と思いました。
内 容	9:30 受付 10:00 諸注意 10:10 A班実習①「保護材の作り方ー薄葉紙の特性と多彩な使い方を知る」 A班実習②「仏像作品の取り扱い方、梱包の仕方」 B班実習①「掛軸の取り扱い方」 B班実習②「茶器の取り扱い方」「仕覆の紐掛け」 12:00 昼 食、名刺交換 12:40 A班実習①「掛軸の取り扱い方」 A班実習②「茶器の取り扱い方」「仕覆の紐掛け」 B班実習①「保護材の作り方ー薄葉紙の特性と多彩な使い方を知る」 B班実習②「仏像作品の取り扱い方、梱包の仕方」 14:30 質疑応答/ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	先着順とします。

研修番号 2

研 修 分 野	展示グラフィック
講 師	熊谷 淳一(株式会社ノイ代表取締役)
ね ら い	最近ではポスター、チラシ等広報物を予算の関係から学芸員が作成することが多くなっています。今回は視覚伝達効果が高い広報物を制作するための「キャッチコピー」「文字の配置・大きさ」「フォント」「配色」「紙面構成」等について学びます。
定 員	30名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	ポスター、チラシ、パネルのデザインで悩んでいる博物館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年8月28日(金)10:00-17:00(9:30受付開始)
会 場	宮崎県総合博物館(宮崎県宮崎市神宮2-4-4)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●センスがなくても、チラシを制作するための4つの要素「メリット」「コピー」「デザイン」「個性」をおさえることで、集客につながるチラシを作ることができたと学びました。 ●徹底的に「見る側・読む側」の立場に立てているかどうかを、今後の評価軸にしています。
内 容	9:30 受付 10:00 自己紹介、「展示グラフィック」の悩みの共有 10:30 グループワーク1「他館のチラシデザインの相互評価」 11:00 講義1「チラシ作りの基礎1<チラシ制作の4つの重要要素>」 12:10 昼 食、名刺交換 13:00 グループワーク2「チラシの改善点を話し合う」 13:15 グループ発表「チラシの改善点について説明する」 14:00 講義2「チラシデザインとキャッチコピーの基本技術」 14:50 休憩 15:05 講義3「展示パネル制作の基本技術」 15:55 休憩 16:05 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 16:35 ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	最近作成した展覧会チラシ、展示パネルを持参してください。 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月3日(月)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 3

研 修 分 野	博物館リニューアルと照明計画
講 師	藤原 工(株式会社灯工舎代表取締役)
ね ら い	「リニューアルに当たって、照明計画はどう考えていけばいいのだろうか?」「学芸員と財政担当者、設計施工業者の折衝で留意することは?」「LEDはどんなものを選んだらいいのだろうか?」などの疑問を、「武雄市歴史資料館」の事例から学びます。
定 員	30名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	博物館リニューアル・照明計画に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月1日(火)10:00-17:00(9:30受付開始)
会 場	武雄市図書館・歴史資料館(佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●LEDの特性や光源の仕組みなど、照明器具の基本的な知識を得ることができました。 あわせて、LED照明を探す際に、どの数値に注意すればよいのか学ぶこともできました。
内 容	9:30 受付 10:00 自己紹介、「展示照明」の悩みの共有 10:30 講義1「展示照明ー基礎からライティングまで」 12:00 昼 食、名刺交換 12:50 演習1「武雄市歴史資料館の照明について」 13:20 講義2「博物館リニューアルに当たっての照明計画の留意点」 14:50 演習2「照明器具の違いを調べる」① 15:30 休憩 15:45 演習3「照明器具の違いを調べる」② 16:25 質疑応答/ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月3日(月)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 4

研 修 分 野	ユニバーサル・ミュージアムⅠ(Withコロナ時代の「さわる展示」を考える)
講 師	広瀬 浩二郎(国立民族学博物館准教授)
ね ら い	Withコロナ時代に入り、改めて「なぜさわる必要があるのか?」を問いかける広瀬浩二郎先生の講義、そして参加者が所属する博物館等の「さわる展示」の現状報告をもとに、これからの博物館活動を考えます。
定 員	30名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	ユニバーサル・ミュージアムに関心がある博物館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月4日(金)10:00-17:00(9:30受付開始)
会 場	九州産業大学(福岡県福岡市東区松香台2-3-1)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●障害者だけではなく、健常者にとっても「じっくり」触るという体験はそれだけ資料と向き合うことであり、言葉での観賞だけではなく「触る鑑賞」がとても有効ということも学ぶことが出来て良かったです。
内 容	9:30 受付 10:00 自己紹介 10:30 講義「Withコロナ時代の「さわる展示」を考える」 12:00 昼 食、名刺交換 12:50 グループワーク1「他館の「さわる展示」の現状と課題を聞いてみよう」 13:30 事例紹介「3密防止道具を使った「さわる展示」のあれこれ」(九州産業大学美術館学芸員) 14:30 休憩 14:45 グループディスカッション 「今後の方策について、いろいろなアイデアを話してみよう」 15:30 質疑応答、広瀬先生の講評 16:10 休憩 16:25 ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月3日(月)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 5

研 修 分 野	資料保存
講 師	木川 りか(九州国立博物館学芸部博物館科学課長)
ね ら い	今回は、「科学の力、人力で博物館資料を守る」をテーマに、「展示環境、収蔵環境では何に気をつけたらよいのか」「光、汚染物質、虫、カビにどう対処するのか」「災害時にどう対応するか」などを木川りか先生の講義と中津市歴史博物館の取り組みから学びます。
定 員	40名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	資料保存・修復に関心がある博物館・図書館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月8日(火)13:00-17:00(12:30受付開始)
会 場	新中津市学校(大分県中津市殿町1385)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●資料保存において、何か起こってからではなく、予防が大事だということが分かりました。日頃から、資料の保存環境のチェックや、掃除等で虫やカビの発生を防ぐことが大事だと思いました。
内 容	12:30 受付 13:00 自己紹介、「資料保存」の悩みの共有 13:30 講義「科学の力と人力で博物館資料を守る」 15:00 休憩、移動、名刺交換 15:20 演習「中津市歴史博物館の資料保存の現場を見てみよう」 16:00 移動 16:10 質疑応答/ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月3日(月)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 6

研 修 分 野	著作権
講 師	福井 健策(弁護士、ニューヨーク州弁護士、日本大学芸術学部客員教授)
ね ら い	「どんな情報が著作権で守られるのか?」「どんな利用に著作権は及ぶのか?」「何処まで似れば侵害なのか?」「PD(パブリック・ドメイン)とは?」など。 日ごろ文化芸術・教育に関係する皆さんが悩まれている著作権に関する考え方、対応法を学びます。
定 員	80名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	著作権対応で悩んでいる博物館・図書館・行政・学校関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月11日(金)13:00-17:00(12:30受付開始)
会 場	琉球大学(沖縄県中頭郡西原町大学千原1)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●著作物の概念が「思想・感情を創作的に表現したもの」であるということが明確になり、それに基づく、実際の判例なども知ることで、今後の活動に活かせると感じました。
内 容	12:30 受付 13:00 開会行事 13:15 講義1「どんな情報が著作権で守られるのか」 「どんな利用に著作権が及ぶのか」 14:15 休憩、名刺交換 14:30 講義2「著作権の限界」「アーカイブの挑戦と権利の壁」 15:30 演習「皆さんからの質問に答える(事前アンケートを基に)」 16:00 休憩 16:15 質疑応答/ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月7日(金)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 7

研 修 分 野	ユニバーサル・ミュージアムⅡ(多文化共生とやさしい日本語)
講 師	佐々木 秀彦(<公財>東京都歴史文化財団)、高尾 戸美(多摩六都科学館)、 村田 陽次(東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課)
ね ら い	子どもから高齢者、そして在留外国人に向けた「ユニバーサル・ミュージアムづくり」の一環として、「やさしい日本語」を取り上げ、その基本的な考え方の講義、そして東京都での取り組み事例紹介、さらに展示パネルやキャプションを「やさしい日本語」作成するグループワークを通じて、「すべての人に開かれたアクセス可能な博物館」の意義を考える時間とします。
定 員	30名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	多文化共生、やさしい日本語に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月15日(火)10:00-17:00(9:30受付開始)
会 場	鹿児島国際大学(鹿児島県鹿児島市坂之上8-34-1)
主 催 者 か ら 一 言	●今年度初めて開設する研修会です。「やさしい日本語」のオンライン講義、そして東京での事例を聞いて、午後から博物館の作品解説シートを「やさしい日本語」に再編成するワークショップを行います。Withコロナ時代の博物館を参加者同士で考える時間にしたいと思います。
内 容	9:30 受付 10:00 自己紹介 10:10 オンライン講義「多文化共生とやさしい日本語」(村田 陽次) 10:55 休憩 11:05 事例紹介1「都立文化施設の取り組み」(佐々木 秀彦) 11:35 事例紹介2「多摩六都科学館の取り組み」(高尾 戸美) 12:20 昼 食、名刺交換 13:10 鹿児島国際大学ミュージアム見学 14:00 ワークショップ「博物館のワークシートをやさしい日本語で作成してみよう」 15:00 休憩 15:15 発表、講師による講評 16:00 質疑応答/ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月14日(金)*申込多数の場合は抽選とします。

研修番号 8

研 修 分 野	展示制作
講 師	洪 恒夫(東京大学総合研究博物館特任教授)
ね ら い	「テーマは決まり、作品リストも固まったけれど、さあこれらをどう展示しようか?」と、毎回思案する学芸員も多いと思います。今回は諫早市美術・歴史館の展覧会を事例に、「展覧会の作り方」を講義、グループワークを通じて学びます。
定 員	30名*申込多数の場合は抽選とします。
受 講 者 像	展覧会の企画立案、制作を行なう博物館関係者、大学教員、学生等
開 催 日 時	2020年9月23日(水)10:00-17:00(9:30受付開始)
会 場	諫早市美術・歴史館(長崎県諫早市東小路町2-33)
昨 年 度 受 講 生 の 声	●展示することは「もてなすこと」である。また、展示の効果として見る側に・驚き・発見・共感・納得が得られることが重要であるということが新たな気づきでした。そのための紐付けした展示の仕方など、実際の展示を見ながら学ぶことができました。 ●企画者は「お客様にどう見てもらいたいのか?何を伝えたいのか?」をじっくり考えることが非常に重要だと感じました。苦しくてもそこをサボらず、企画を作っていこうと思いました。
内 容	9:30 受付 10:00 自己紹介、「展示制作」の悩みの共有 10:30 報告「展覧会の作り方ー諫早市美術・歴史館を事例としてー」 講 師: 諫早市美術・歴史館学芸員 11:10 生誕110周年記念「廣津雲仙」会場見学 12:00 昼 食、名刺交換 12:50 グループワーク1「展示制作のココはいいなあ【I like】、ココはこうしたいなあ【I wish】というポイントを検証する」 13:40 グループ発表(諫早市美術・歴史館学芸員からコメント) 14:20 講義「展覧会の作り方」で留意したいこと」 講 師: 洪 恒夫(東京大学総合研究博物館特任教授) 15:20 休憩 15:35 グループワーク2「もう一度展覧会を見てみよう」 16:15 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 16:40 ふりかえり 17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
締 切 日	2020年8月22日(土)*申込多数の場合は抽選とします。